



芽室町「子ども110番の家」

～地域ぐるみで守る、子どもの笑顔と安全～



「子ども110番の家」とは

子どもが学校の登下校などの際に、不審者からの「声かけ、痴漢、つきまとい行為」など身にせまった危険を感じたり、何らかの被害に遭った、または遭いそうになったときなどに、避難場所として駆け込み、住民が一時的に保護して、警察への通報や学校に連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全・安心を守るボランティア活動です。 ※身にせまった危険とは、犯罪に限らずいじめや自然災害による被害も含まれます。



例えば…

- ・あやしい人に声をかけられた
- ・痴漢被害に遭った
- ・強盗被害に遭った
- ・車に無理やり乗せられそうになった
- ・知らない人に後をつけられた
- ・交通事故にあった。

などの場合に、子どもたちは助けを求めて子ども110番の家に駆け込んでくることがあります。

しかし、この家の方が危険な目に遭うような負担を求めるものではありません。もしもの時には、犯人や不審者等への対応には十分に気をつけてくださるようお願いいたします。

子どもが駆け込んできたときは



まずは家の中へ

不審者や犯人などに追いかけてられている可能性もありますので、可能な限り早めに子どもを家に入れてください。



大人は落ち着いて

大人が慌てると子どもはますます興奮しますので、「何があったの？」と優しく問いかけ、冷静に対応してください。



安心させる

「もう大丈夫だよ」「すぐ110番するから安心してね」と声をかけ、子どもを落ち着かせてあげてください。

駆け込んできても、事件の疑いがない場合もあるかと思えます。

例えば、

- ・水を飲ませて
- ・トイレを貸して
- ・お腹が痛い
- ・自転車がパンクした
- ・犬が怖い
- ・雨がやむまで待たせて
- ・雷が怖い
- など

このような時には、どうか、思いやりのところで接してあげてください。



「危険」と感じたら

子どもの様子を見て「これは危険だ」と感じたら、次の連絡先に連絡をお願いします。

関係機関	連絡先
帯広警察署	0155-25-0110
芽室交番	0155-62-2151
上美生派出所	0155-66-2151
役場(環境土木課)	0155-62-9726
教育委員会	0155-62-9730



子どもたちが駆け込みやすい環境づくり

子どもたちは「知らない家」には駆け込みにくいという気持ちをもっています。

こうした気持は大人も同じです。登下校時などに子どもの姿を見かけたら、日ごろから「おはよう」「行ってらっしゃい」「気をつけてね」などと、あいさつや声かけをしてください。顔見知りになると子どもの方から声をかけてくるようになると思います。

また、町内の各学校、特に小学校では、新学期早々に通学路周辺の「子ども110番の家」を確認するなどの指導をしております。



芽室町防犯協会事務局(環境土木課生活環境係)

Tel 0155-62-9726 / Fax 0155-62-4599

Mail j-kankyounet@memuro.net